

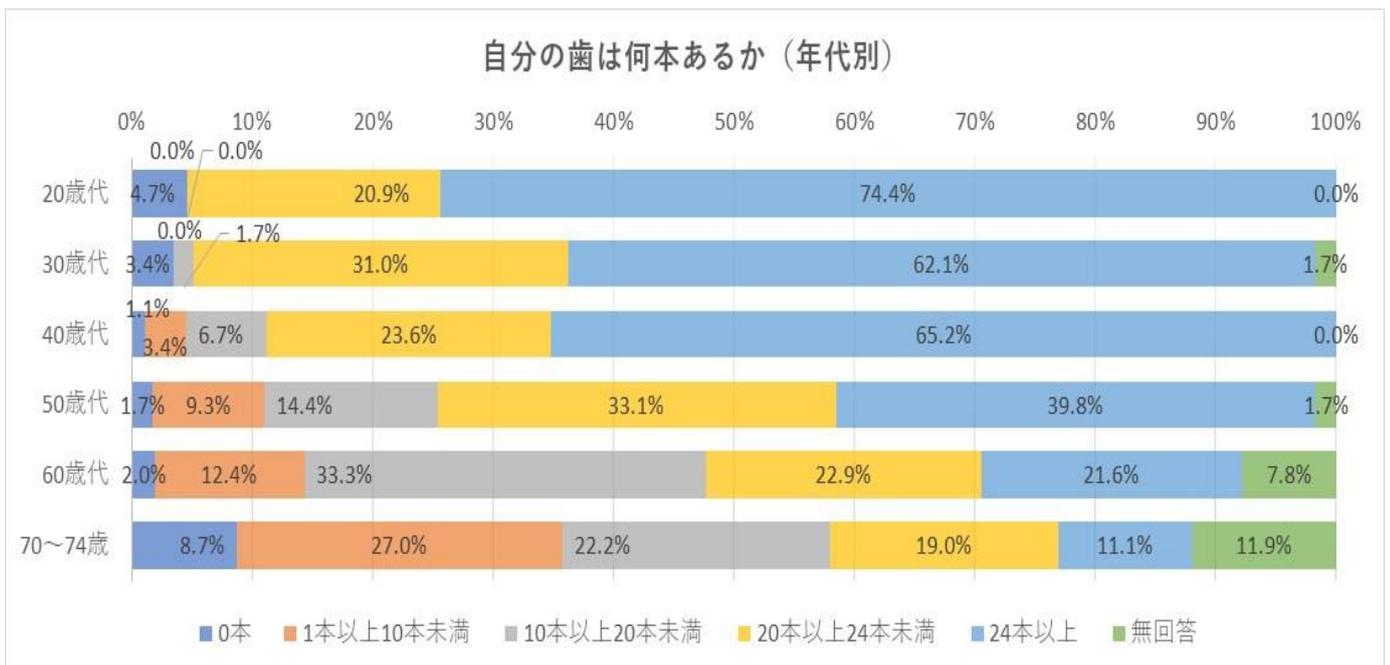
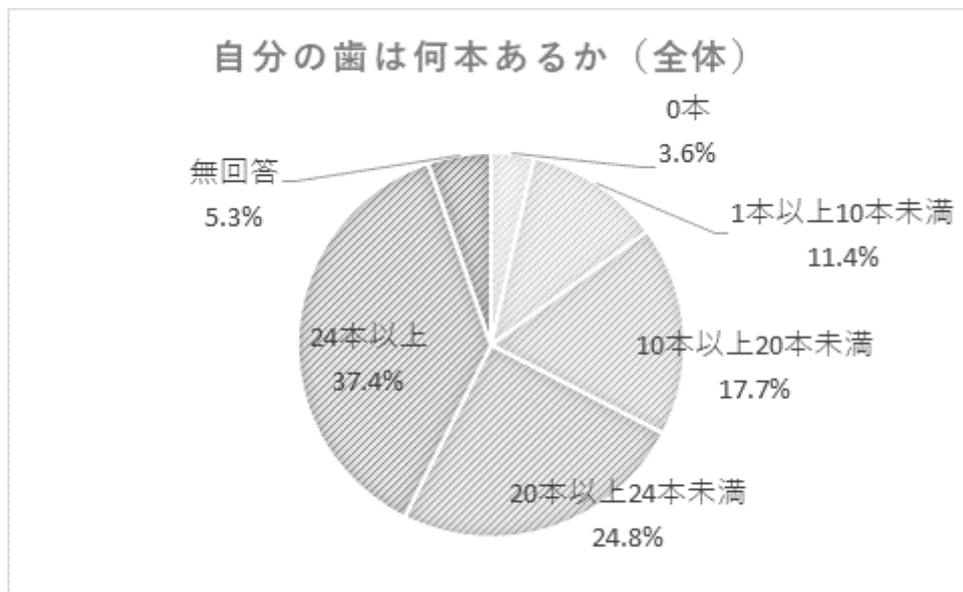
V. 歯の健康

2.2 現在、自分の歯は何本ありますか

「24本以上」が37.4%で最も多く、次いで「20本以上24本未満」が24.8%となっている。「20本以上自分の歯がある」割合は、62.2%で全国調査（注1）より12.5%低くなっている。

年代別では、「20本以上」は20歳代が95.3%と最も多く、年代が高くなるとともにその割合が低くなり、50歳代を境に顕著に低くなっている。

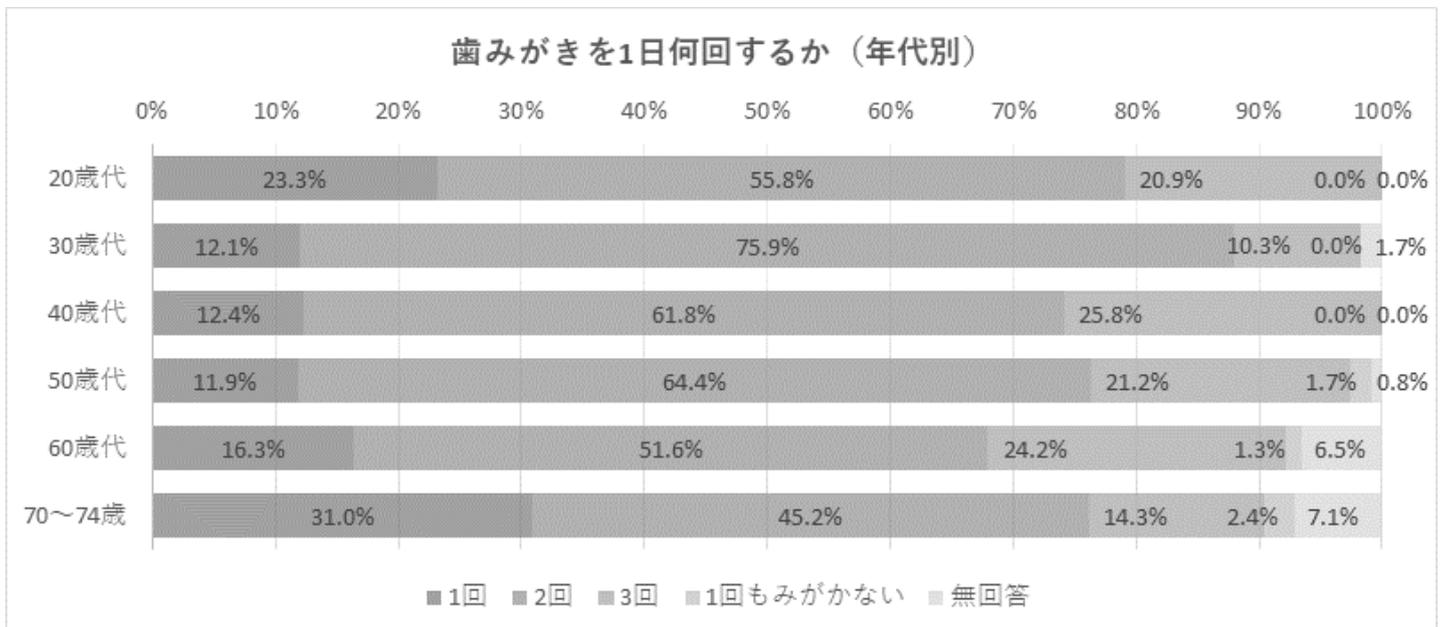
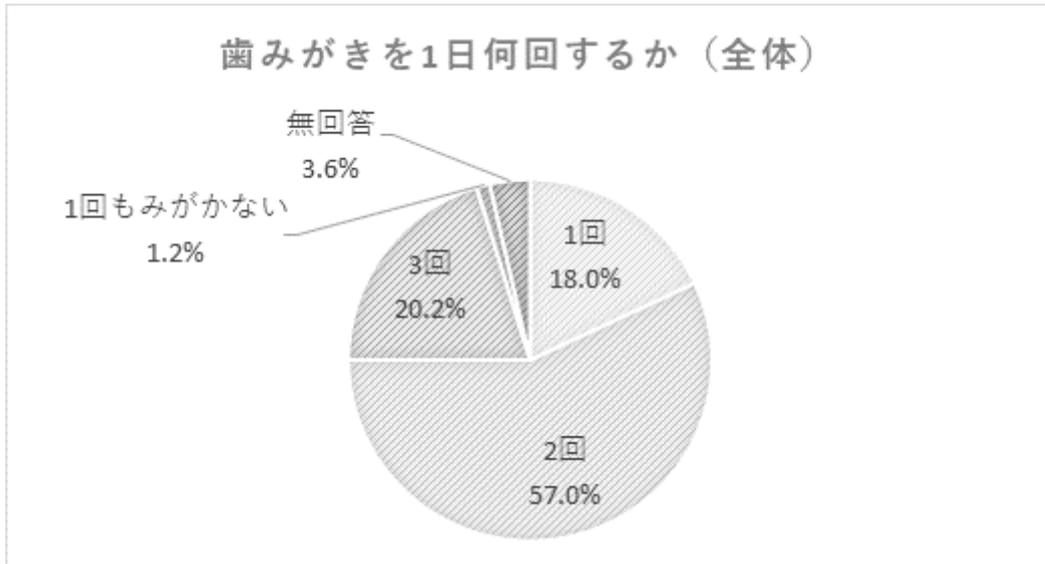
全国調査（注1）：「20本以上有する者の割合」は74.7%



2.3 歯みがきを1日何回しますか

「3回」が20.2%、「2回」が57.0%、「1回」が18.0%、「1回もみがかない」が1.2%となっている。

“1日2回以上歯みがきする割合”は77.2%で、道民歯科保健実態調査（平成28年度）の68.8%と比べると8.4%高くなっている。

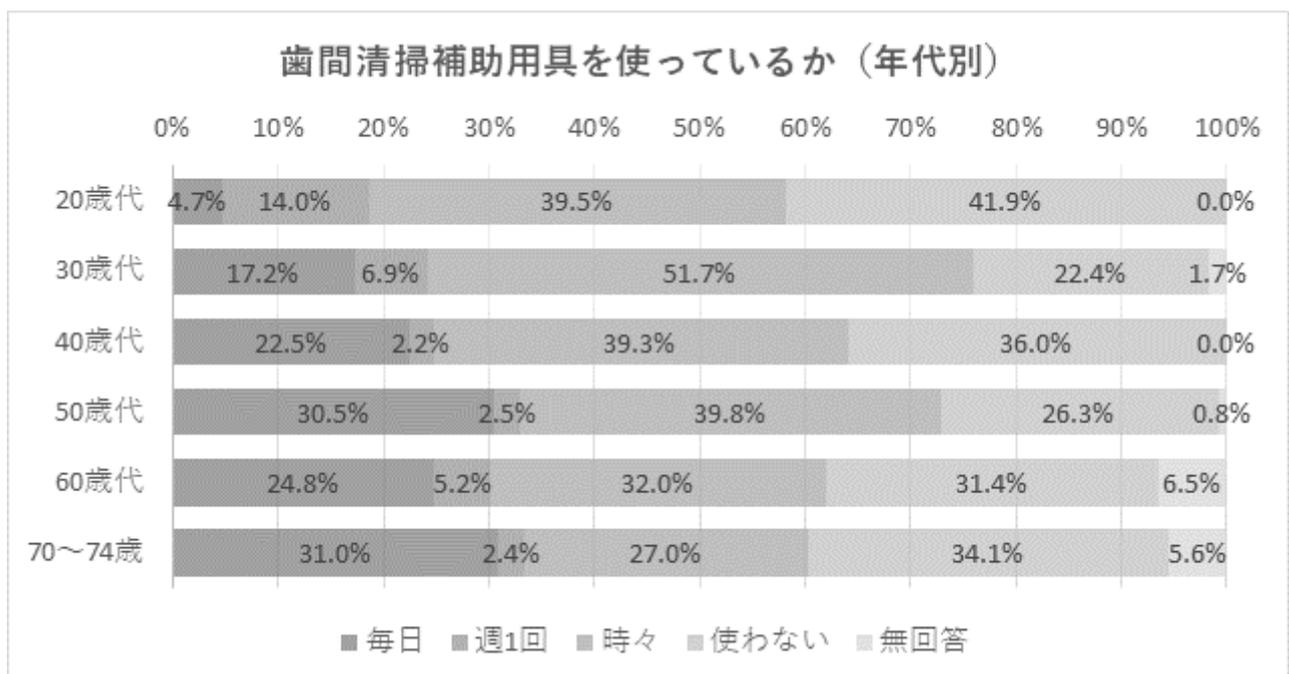
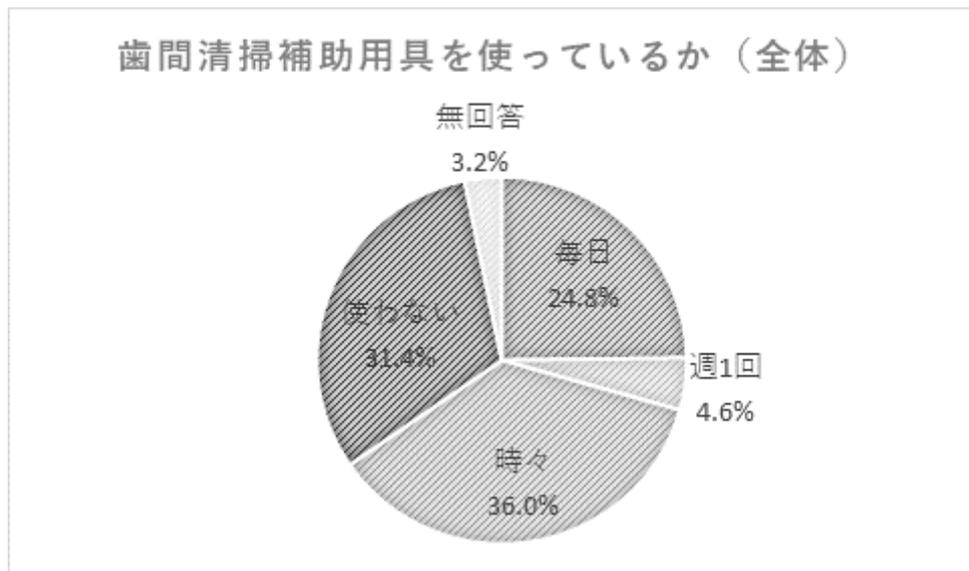


24 歯間清掃補助用具等（糸ようじ、歯間ブラシ、デンタルフロス）を使っていますか。

「毎日使っている」、「ときどき使っている」、「週に1回使っている」を合わせ、「使っている」とした割合が65.4%で、「使わない」が31.4%となっている。

年代が上がるにつれ「毎日使っている」割合が増える傾向にある一方、20歳代では「使わない」割合が約4割となっている。

“歯間清掃補助用具使用者の割合”では、道民歯科保健実態調査（平成28年度）の47.4%と比べると18.0%高くなっている。

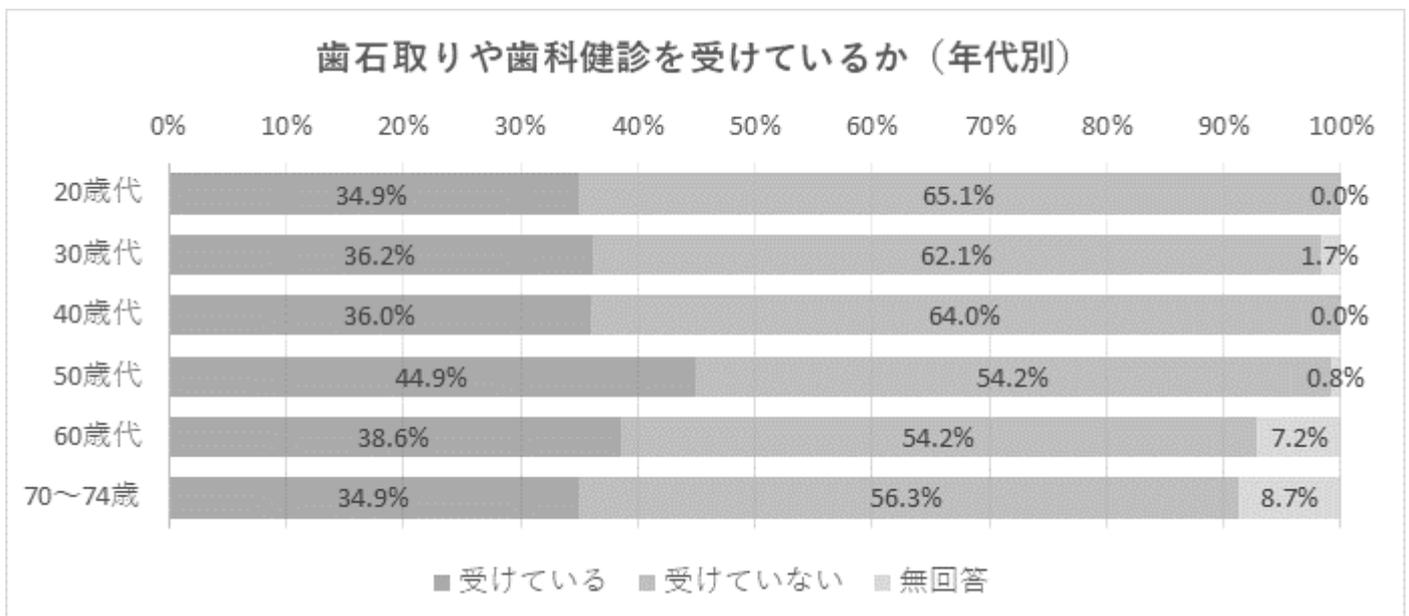
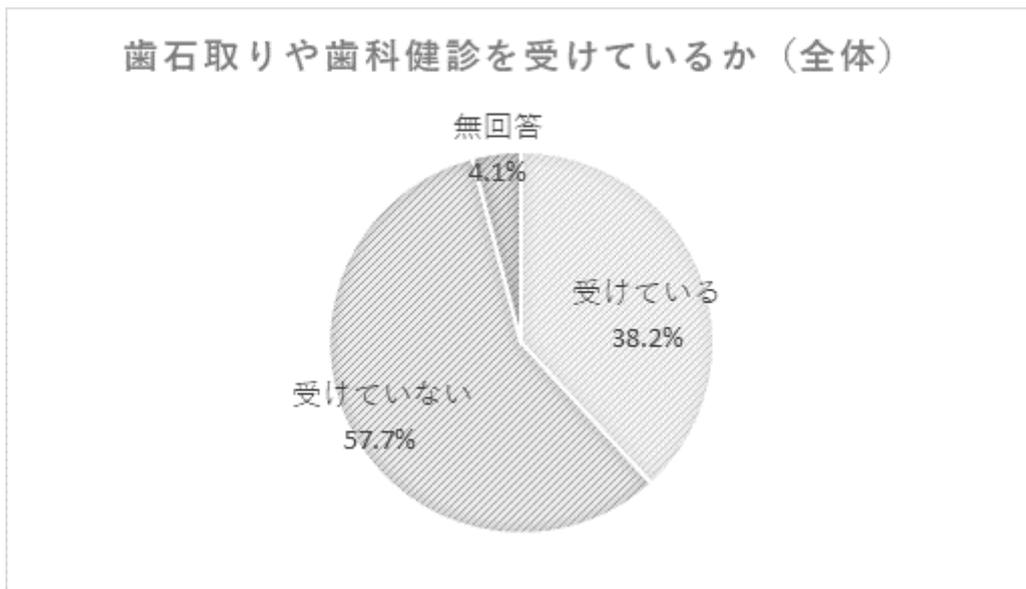


25 年に1回以上、定期的に歯石を取ってもらったり、または歯科健診を受けていますか。

「受けていない」が57.7%、「受けている」が38.2%となっている。

定期的に歯石を取ったり、歯科健診を受ける割合はどの年代でも3割を超えており、特に50歳代では4割を超えている。

道民歯科保健実態調査（平成28年度）において、定期的に歯科健診を受けている割合は29.2%。



26 歯周病が体に及ぼす影響を知っていますか。

「知っている」が68.8%、「知らない」が27.3%となっている。
20歳代、70歳代以外の年代で、7割前後が「知っている」と回答している。

